

令和7年度

松茂町立喜来学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら課題を探し、解決していこうとする授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して、最後まで真面目に取り組むことができる。 ●基礎的な学力や語彙力には個人差が大きく、特に「聞く・話す・読む・書く」といった言語活動を苦手とする児童が多くみられる。	・読み・書き・計算などの基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・日常的な読書や言語活動を通して、新しい語句や言い回しに親しみ、語彙を豊かにすることができる。	・当該学年までに学習した読み書きや計算などの内容をAIドリルや小テストを活用して確実に定着させる。 ・読書活動に工夫を加えることで、内容をより充実させる。 ・学んだことをもとに、自分の意見や感想を話したり書いたりする活動を通して、言語表現力を高める。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○小集団の場では自分の意見を積極的に伝えることのできる児童が多い。特に、タブレットを用いた学習では自信をもって発表する様子が見られる。 ●問題文を的確に読み取る力や、自分の考えの根拠を明確にして表現する力に課題がみられる。	・正確に文章を読んだり、書いたりすることができる。 ・文章から必要な情報を的確に読み取り、自分の考えを根拠や理由とともに筋道立てて整理し、相手に伝えるように表現することができる。	・朝の学習の時間などを活用し、読解力に特化したトレーニングをする。 ・個人で考える時間を確保し、小集団での話し合いを経て全体に発表するという段階を踏めるようにする。 ・ICT等のツールを効果的に活用することで、様々な表現方法や発表形態を身に付けられるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○難しい課題にも自分なりに考え、前向きに取り組もうとする児童が多い。また、自主学習など工夫して学習に取り組むことのできる児童もみられる。 ●自ら進んで課題を見つけ、追求しようとする意欲や、粘り強く挑戦し続けようとする姿勢が十分に育っていない。	・主体的に学習に取り組む、自ら課題を見つけ、考える、学ぶことの楽しさや達成感を味わうことができるようにする。 ・苦手な学習課題にもあきらめずに根気強く取り組むことができる。	・問題解決的な学習ができるよう、児童の思考の流れを意識して、単元構成を考える。 ・学んだことを振り返る場を設定し、課題解決の達成感や次時への問題意識をもたせる。 ・ICT等のツールを活用して、他の児童の学びや考えに触れることで、自らの学習に生かせるようにする。			